
いつかあの日まで

ぼー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

いつかあの日まで

【Zマーク】

N2175E

【作者名】

ぼー

【あらすじ】

綾芽高校に通う神城冬弥が桜の木の下で出会った少女との日常を描いていく恋愛?ストーリー

0話（前書き）

間違いや感想、アドバイスなど言つてもいいのです。

桜が舞う季節、それぞれが色々な道に進み始める。

俺は今、高校生活の第一歩を踏み出そうとしている。今日が綾芽高校の入学式だ。俺は最近、この高校に通うために引越ししてきた。前の住んでいたところからでは遠すぎるのだ。今、俺は校門の前にいる。時刻は7時半過ぎってところだ。余裕を持つて行動し、その結果かなり早くについてしまった。

「はあ～、まだ誰も来ていないよな」

早くきて後悔した。

暇だし校内でも散歩しよう。入学式は8時半に席についたらいいのだ。後、1時間もある。

しかし、この学校は広すぎる。なぜ敷地内に森があるんだ?やばい!迷子になつてしまふ。つて、すでに迷子になつている。まわりをよく見てみると、大きな桜の木が高々と立っている。俺は無意識のうちにその桜の木へ近づいていた。

「あれ?誰か人がいるぞー!おーい、体育館まで連れて行ってくれー

一人の少女が声に気付きこちらを向いた。
遠くてよく見えなかつたが、近づいてみるとそこにはかなりの美少
女がいた。

〇話（後書き）

短くてすいません。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2175e/>

いつかあの日まで

2011年1月20日03時29分発行